

第1回Mathematicaレポート提出(1/2)

- 「画像認識」の授業開始から“錯視シミュレーション”までに行ったMathematica演習を第1回レポートの範囲とする。
- メール送付先: yoshi@image.med.osaka-u.ac.jp
- **メール件名**
 - 必ず半角英数のみにすること
 - 以下の形式にすること
Math-1-***-XXXX**
 - » *****: 学生番号
 - » XXXX: 名前
- レポートを添付ファイルとする。
 - **レポートファイル名は、メール件名と同じにする。**
 - Mathematicaのファイルと、Mathematica演習内容を説明するワードファイルを添付すること。
- 提出締切は、11月27日とします。

第1回Mathematicaレポート提出(2/2)

- Mathematica演習内容を説明するワードファイルについて
 - 学生番号、名前を最初に書くこと
 - Mathematicaで行った処理に対して以下の点について述べる。
 - 数学的意味(数式やブロック図も必要に応じて示すこと)
 - 画像処理として得られた効果
 - 同時に発生した副作用(悪影響)
 - 錯視のシミュレーションについて、以下の点について述べる。
 - 人間の視覚系のどのようなメカニズムを、どのような数理モデルを用いてシミュレートしたか？
 - なぜそのような錯視が起きると考えられるか？
 - インターネット検索などで、Mathematica演習の内容につながる関連項目を調査して、結果の考察を行うこと(検索したサイト名、アドレスなども併記すること)。